

# 申 城岳同窓会



## 新型コロナを 乗り越えよう！

一般社団法人 城岳同窓会  
会長 宮里 博史 (21期)



城岳同窓会会員の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大で多大な苦難にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。また感染拡大防止でご尽力なさっている関係者の皆様に敬意を表します。

さて、本年2月以来、新型コロナウイルス感染症の発生で県内、国内外の社会生活、経済活動面で未曾有の大混乱が発生し、緊急事態宣言の発出、予防策の徹底、検査・治療体制強化等様々な対策が講じられていますがまだ終息の兆しは見えておりません。1日も早い終息を願うものであります。

同窓会の活動でも新型コロナウイルスの影響を受けて事業の中止又は変更を余儀なくされました。3月に派遣予定だった「第3回ハワイショートステイプログラム」は在校生2名選考し、渡航手続き、新聞発表も済んでいましたが残念ながら派遣中止となりました。来年3月の派遣も見通しが見つからないことから7月に行う募集も中止しました。

5月の「同窓会定時社員総会」や「定例理事会」も初めて書面開催にしたほか、6月23日の「二中健児の塔慰霊祭」も、学校講堂に場所を代えて、少人数での開催に変更しました。

「二中・那覇高校創立百十周年記念事業」も当初の計画から大きく変更せざるを得なくなりました。10月17日県立武道館アリーナで開催予定していた「記念式典・記念講演」は、会場を学校の講堂に変更して、参加者は100名程度に縮小、在校生は各教室でモニター視聴とし、記念講演は東京から遠隔で南風原朝和先生（那覇高25期生）に講演してもらうことにしました。そして「祝賀会」及び「記念ゴルフ大会」は残念ながら中止しました。

こうした中でも、記念事業実行委員会では学内公募で「創立百十周年記念キャッチコピー、ロゴマーク」を選定し、「同窓生への寄付金依頼、地元両紙への新聞広告、記念誌発刊、式典、記念講演」などの準備は着々と進めてきました。

そして、いよいよ迎えた10月17日の記念式典・記念講演でしたが、予想だにしない前日に学校体育館補修工事業者に不慮の死亡事故が発生したため急遽式典を延期することにしました。当日ご出席いただいた在校生、同窓会役員や関係者の皆様には状況を説明して、「110年の歩み」の映像をご覧いただき、その後記念講演を予定通り開催致しました。

南風原先生の記念講演は「高校入学から半世紀学びの振り返りと後輩へのエール」言う演題で生徒たちに解りやすい内容で、那覇高校の歴史、自分の体験、後輩達へのメッセージをお話していただきました。生徒の皆様にも大変有意義な講演になったものと思います。その様子はYouTubeで県内外・海外の同窓生、一般の方にも同時に視聴できるようにし、またいつでも自由に見ることができます。延期していた記念式典は11月28日に八汐荘で実施しました。

本年は新型コロナウイルスの影響で様々な分野にこれまで経験したことが無い混乱と変化をもたらしていますが、長い歴史の中で予期せぬ出来事はこれまでも何度も起こってきたことと思います。二中・那覇高校の110年の歴史の中でも幾多の困難がありましたが関係者の努力でそれを乗り越えて今日を迎えております。同窓会活動においても皆で知恵を出して最善の努力をしていく事が大事かと思ひます。皆で力を合わせて新型コロナ禍を乗り越えていきましょう。

二中・那覇高等学校創立百十周年記念事業に対しご支援を賜りました同窓生、学校、PTA、関係者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに今後ますますのご健勝ご活躍を祈念申し上げます。

# 沖縄県立第二中学校・沖縄県立那覇高等学校創立百十周年記念 キャッチコピー及びロゴマーク

## キャッチコピー部門

キャッチコピー部門最優秀賞

小橋川さくら（3年）

歴史を紡ぎ 未来へ羽ばたく 110年

## ロゴマーク部門

ロゴマーク部門最優秀賞

大城 <sup>あんな</sup> 杏奈（3年）



キャッチコピーとロゴマークの表彰式

県立二中・那覇高等学校創立百十周年記念式典・祝賀会の2020年10月17日（土）開催に向け、記念事業を同窓会員はじめ現役の高校生・保護者及び県民に周知するために、キャッチコピーとロゴマークを作成した。

2019年6月に那覇高校生に呼びかけ、キャッチコピー部門に19点、ロゴマーク部門に14点の素晴らしい作品応募があり、それぞれの部門から各1点を最優秀作品として決定した。

## 県立二中・那覇高校創立百十周年記念講演

2020年10月17日に那覇高校大講堂で生徒、PTA、同窓生が出席して行われた。南風原朝和氏（25期・東京大学名誉教授・元副学長、広尾学園中学・高等学校校長）は東京で大講堂、各教室をネットで結んで行われた。

1972年復帰の年の卒業生だった南風原氏は、国費合格の大学を半年でやめて、翌春、東京大学に受験し直した。大学を選び直した理由を「入学後に選択肢の広い東大を選んだ」と話す。専門は教育学の心理統計学。大学入試改革において、記述式共通テストに「国語教育を歪めるおそれがある」と専門分野から異議を唱えたという。

後輩たちに「進路の視野を広げて欲しい」という南風原氏は、「基礎体力ともいえる知性と、新たな事態に立ち向かう柔軟な構え」の大切さをエールとして贈った。生徒たちに大きな刺激を与える講演となった。



記念講演に先立ち「二中・那覇高110年の歴史」を上映



素晴らしい講演に引き込まれる



広尾学園中学校・高等学校からリモート講演がスタート



南風原先生の講演を各教室で視聴する生徒たち

# 県立二中・那覇高校創立百十周年記念式典

## 歴代の学校長、PTA会長、同窓会長に感謝状

### 苦難の歴史に学び コロナ禍を乗り越え 新たな伝統を築こう

県立二中・那覇高校創立百十周年記念式典は11月28日、那覇市の八汐荘でコロナ対策を取る中、学校、PTA、同窓会の関係者約50人が出席して行われ、歴代の学校長、PTA会長、同窓会長に感謝状が贈呈されたほか、奨学基金を寄付されたA氏が特別表彰された。式辞で、上原源三校長は伝統を受け継ぎつつ「情報化、グローバル化など変化の激しい時代に、自立した逞しい生徒を育成したい」と話した。宮里博史・記念事業実行委員会会長（同窓会会長）は、コロナ禍で大きく変更した百十周年記念事業の経緯を説明、一体となって進めた学校、PTA、同窓会の3年に及ぶ協力に感謝した。宮里憲PTA会長は「在校生も伝統と誇りを胸に頑張っている。PTAも全力でサポートすることを誓います」と挨拶した。片山春乃生徒会長は書面で、コロナ禍の困難を仲間と支え合い乗り越えていく決意を伝えた。受賞者を代表して第8代同窓会会長の嘉数昇明氏は校歌の「世紀の嵐吹きすさみ」の歌詞を交えつつ苦難の1世紀を振り返り、「後輩たちがさらに那覇高校の名を高めることを期待している」と語った。奨学基金に1億5000万円を寄付されたA氏について「この厚意を決して忘れてはなりません」と強調した。百十周年記念事業で集めた寄付は、吹奏楽部の楽器購入等に充てられる。

與那覇博明・実行委員会副会長（同窓会副会長）から上原源三校長へ目録が贈呈された。感謝状は次の方々に贈られた。（敬称略）

校長の部：山田保（23代）、儀間清隆（24代）、森田邦弘（25代）、宮城勉（26代）。

PTA会長の部：照屋尚美（19代）、玉城剛（20代）、比嘉康裕（21代）、上原久（22代）、宮里公江（23代）、宮城光秀（24代）、島袋善克（25代）。

同窓会長の部：源河徳博（7代）、嘉数昇明（8代）。特別表彰：A氏。



24代儀間清隆校長へ宮里実行委員会会長から



與那覇実行委員会副会長から上原源三校長へ目録の贈呈



受賞者代表挨拶を嘉数昇明氏が行う



受賞者と実行委員会役員

## A氏奨学金第12期生

一般社団法人城岳同窓会では「学業・人物ともに優秀で経済的理由により、学業継続が困難な者に対して奨学金を給与する事により、地域社会や城岳同窓会へ貢献できる優秀な人材を育成する」事を目的に奨学生を募集している。

平成20年にA氏奨学金制度がスタートして、本年度で12年目を迎えた。その間に34名が希望の大学へ進学し、ドイツ、オーストラリア、韓国、台湾へ留学し、多くの奨学生が優秀な社会人として県内外・海外の第一線で活躍している。

二中・那覇高校創立百十周年を記念して、今年度から奨学金を1人あたり年額12万円増額した。令和1年度は、第73期卒業生の中から3人を第12期奨学生として決定した。



後列左から仲本茉由さん、屋宜日和さんと保護者、城間美優さんと保護者、前列左から森田邦弘副会長、宮里博史会長



左から仲本茉由さん、屋宜日和さん、城間美優さん

### A氏奨学金 第12期生

城間 美優さん	福岡大学 法学部 法律学科
屋宜 日和さん	京都先端科学大学 健康医療学部 言語聴覚学科
仲本 茉由さん	名桜大学 人間健康学部 看護学科

### 奨学金支給額

県内：月額 30,000円（年額：360,000円） 県外：月額 50,000円（年額：600,000円）

## 海外ショートステイ・プログラム Short Stay Abroad Program (SAP)

この事業はA氏奨学事業の一つとして、異文化を学び国際的視野を有する人材育成を目的として、平成29年（2017年）事業を開始した。第1期生を平成30年（2018年3月）にハワイ州のイオラニ・スクールに新垣亮真くんを短期留学派遣した。平成31年（2019年3月）には第2期生として上原樹音さんと宮城日和さんの2名をイオラニ・スクールとパシフィック・ブーディスト・アカデミーにそれぞれ1週間の短期留学派遣をした。

派遣当初から「ハワイ在の那覇高校出身者で同窓会を結成したい」との希望があり、2019年3月に12名のハワイ在同窓生で「ハワイ城岳同窓会」が結成され、初代同窓会長にハワイ大学名誉教授の聖田京子氏（9期生）が就任した。この2年間でハワイ沖縄県人会（HUOA）とハワイ城岳同窓会（HJAA）の絆が一層強まり、Host Family探しが容易になってきた。

第3期SAPを2019年8月に募集、9月には応募者18名の中から6名を面接し、翁長かずなさん、山田はんなんさんの2名を派遣決定した。2020年2月にはオリエンテーションを行い、沖縄タイムス、琉球新報の2社による新聞取材があり両紙ともに大きく掲載された。



第3期SAP 認定証の交付式



宮里博史同窓会長から認定証を翁長かずなさんへ



宮里博史同窓会長から認定証を山田はんなんさんへ



後列左から與那覇博明副会長、宮里博史会長、上原源三校長先生  
前列左から山田さんのお母様とはんなさん、翁長かずなさんとお母様

この様にすべての手続きを行ったにも拘わらず、派遣中止は残念でならない。2020年度からは、日本国際生活体験協会（EIL）に委託する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により今年のSAP事業も取りやめとなり、2年連続の中止となった。また、りゅうぎん国際化振興財団からの助成金支給決定も辞退した。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止せざるを得なくなった。

Host SchoolとHost Familyも決まり、2月29日出発の航空券を確認、お土産も買い揃え、出発準備万端の時、ハワイ城岳同窓会員のHanae氏から「本日2月27日に沖縄県教育委員会とHUOA共催事業である高校生交換交流プログラムが、新型コロナウイルス感染拡大の為中止となりました。」との連絡が入り、関係者と協議の上、急遽第3期SAPを中止とした。派遣予定の2人の無念さは勿論、ハワイの関係者からも残念なメッセージが多く寄せられた。

### Iolani School

カメハメハ王4世とエマ王女によって設立された学校である。また、歴史あるイオラニ・スクールは、ハワイ州ではトップクラスの進学校で、幼・小・中・高の私立一貫校で寮を備えた、多様性豊かな学園である。



### Pacific Buddhist Academy (PBA)

仏教の原理と教えにより多様性に満ちたカリキュラムである。生徒の豊かな個性や資質を伸ばしていくユニークな取り組みで、多感期にある生徒の学力向上と精神面を養う為、武道の授業を取り入れる等幼・小・中・高校の私立一貫校である。



## 慰霊祭

### 二中健児之塔

6月23日、新型コロナウイルス感染防止の為規模を縮小しながら、しめやかに挙行された。前日からの雨により、2年連続で慰霊碑の建つ城岳公園から那覇高校講堂に会場を変更しての慰霊祭となった。

平和教育の授業として、全学年で「那覇高校の校歌について」学び、慰霊祭当日には全学級の感想がパネルにして展示された。沖縄戦を乗り越えて戦後につくられた校歌の『世紀の嵐吹き荒み 故山の草木貌かえ』に在校生たちは衝撃を受けた様である。また、生徒会長の遠藤義宗君（2年）の「誓いのことば」は新鮮な感動を与えた。



與那覇博明副会長による開式のことば



ソーシャルディスタンスを保ち二中校歌斉唱



宮里博史同窓会長による「追悼の辞」



遠藤義宗生徒会長による「誓いのことば」



金城恒陽氏による遺族代表あいさつ



同期生によるご焼香

## 城岳賞

年間を通して顕著な活動した団体または個人に対して、同窓会から城岳賞として賞状と副賞を贈呈する。2019年度の城岳賞は県大会はじめ全国大会に出場するなど素晴らしい実績を残した水泳部と4月に埼玉県越谷市の火災で16歳の少女を救助した玉城弘次郎君（3年）に贈呈した。



森田邦弘副会長から水泳部へ賞状と副賞を贈呈



玉城弘次郎君へ賞状と副賞を贈呈

## 仲松健雄 (23期生)



株式会社メディア・ワン  
代表取締役会長

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-2 神田南口鋭光ビル4F  
TEL.03-5297-4601 FAX.03-5297-4611



一般社団法人  
関東沖縄経営者協会  
名誉会長



東京沖縄県人連合会  
会長



東京沖縄県人会  
会長

## 卒業式

2019年度の第73回卒業式は2020年3月1日、新型コロナウイルス感染防止の為に保護者2人と少数の来賓参加に限定されるなか厳粛に行われた。



上原源三校長先生より卒業認定



## Graduation Ceremony

生徒一人ひとりに卒業証書が授与



引き続き、城岳同窓会入会式が行われた。



73期生代表幹事の決意表明

## 医療法人 天仁会 天久台病院

理事長 平良 直樹(那覇高23期)  
副院長 平良 雅人(那覇高28期)

那覇市字天久1123番地 TEL:868-2101(代)

<http://www.tjmc.or.jp/>

## 各同窓会の様子

### 1) 北海道城岳同窓会

平成28年発足。

初代会長=八木政明 (12期)

2代会長=城間祥之 (26期)



新型コロナウイルス感染拡大により  
2020年7月にオンライン総会を開催



2016年5月に開催された北海道城岳同窓会設立総会

### 2) 関東城岳同窓会

昭和28年発足

初代会長=高嶺 元英 (二中1期)

2代会長=松田 信徳 (二中9期)

3代会長=稲嶺 一郎 (二中10期)

4代会長=金城 侍敬 (二中15期)

5代会長=上江洲 太郎 (二中19期)

6代会長=山路 安清 (二中34期)

7代会長=真栄田 修 (那覇高8期)

8代会長=比嘉 良智 (那覇高13期)

9代会長=大浜多慧子 (那覇高17期)



第9代会長の大浜多慧子氏



令和1年4月に開催された関東城岳同窓会総会

～『県立二中・那覇高等学校』創立110周年おめでとうございます㊦～



医療法人 誠和会 理事長 大島教子 (37期) 〒902-0078 那覇市識名2-6-35 (識名小裏門近く)

事務長 大島邦子 (39期)

電話：098-833-1165

## 介護老人保健施設 シルバーピアしきな

★入所施設 (定員95名、対象は病状の安定した要介護の方です/医師配置/リハビリ提供)

★通所リハビリテーション (定員25名、対象は自宅におられる要介護の方です)

★居宅介護支援事業 (ケアマネージャー! 介護保険サービスご利用者の介護計画作成致します)

## 各同窓会の様子

### 3) 関西城岳同窓会

昭和62年発足。

初代会長＝與儀雅康（20期）

2代会長＝大城一成（20期）



大城一成会長から寄附金を受ける



令和2年2月に開催された関西城岳同窓会総会

### 4) ハワイ城岳同窓会

平成30年発足。

初代会長＝聖田京子（9期）



平成29年9月  
ハワイ城岳同窓生の初顔合わせ



平成30年3月に開催されたハワイ城岳同窓会総会

コンクリート劣化補修・防水・塗装

WSK ワールド産業株式会社

沖縄県知事許可（般-31）第2693号

社団法人日本塗装工業会会員

沖縄県防水施工業協会会員

代表取締役 砂川英昭（33期生）

〒900-0037 沖縄県那覇市辻1丁目2番13号

電話 098-868-7566

FAX 098-867-5695

携帯 090-3793-4660

world-sangyo@proof.ocn.ne.jp

◇ 事業内容 ◇

- ・防水・塗装工事
- ・コンクリート劣化補修工事
- ・ひび割れエポキシ樹脂注入工事
- ・耐震補強工事
- ・土木・建築工事
- ・リフォーム工事

◆コニベシステム工業会会員

◆TOTOリモデルクラブ会員



## スウェーデンでの共同研究から

北海道大学 教授  
金城 政孝 (28期)

今から 40 数年ほど前、私は生物クラブに所属して、ほぼ毎日授業が終わると生物教室にいました。四角い生物実験机を囲んで放課後にセブンブリッジをするのが楽しみでした。その時の外の風景で思い出に残っているのは、確か B 棟と C 棟の間か C 棟と D 棟の間にあった大きなユーカリの樹です。あれは本当にユーカリの樹なのか、今では自信がありませんが、紫色のサクランボくくらいの渋い実をつけていたことを思い出します。

そんなことも関係したのか、宇都宮大学の農学部に進学し、現在は北海道大学で生物学科に所属して学生を指導しています。コロナ禍の中、授業はオンラインになっています。教えているのは基礎的な内容で、今でも興味は細胞の中を顕微鏡で覗いて見ることです。何とか細胞の中を詳しく知りたいために、新しい顕微鏡の開発が今の私の研究テーマとなり、学生たちと毎日レンズを覗いています。

そんな中で、私が大学生の頃と大きく違うのは、グローバル化でしょう。北海道大学は教育の国際通用性や質の向上を目的として大学教員と海外の大学等との共同教育プログラムを実施しています。私もその一端に貢献するために、若い頃 2 年ほど家族で滞在したスウェーデンのストックホルムにあるカロリンスカ研究所(大学)に、2014 年から毎年学生を派遣し、共同研究を含めて約 2 か月間の短期滞在をさせています。期間は毎年 11 月から 12 月末で、白夜とは逆の極夜で一番暗い時期なので、気持ちが落ち込むことも多いのですが、でも二つほど学生にとってはいいことがあります。一つは毎年 12 月にノーベル賞の授賞式があり、その記念講演会に無料で参加できること(写



写真1 学生が撮影したノーベル賞講演会(2019)



写真2 学生が撮影したノーベル賞講演会(2018) 本庶先生の講演の様子

真1,2), もう一つは、本場の(?)クリスマスの雰囲気を楽しむことができることです。

滞在中には2週間の英語での集中講義があります。主に、レーザー顕微鏡に関する午前中の授業(写真3)と午後の実習になります。少人数で12名の中に日本人学生が2人なので、否が応にも他の学生たちとコミュニケーションをとる必要があり、最終日は英語でのプレゼンテーションのテストを受けることになります(写真4)。

私も毎年集中講義に参加して学生を指導していますが、派遣された学生は初めのうちはシャイな東洋人として見られているのが常です。しかし、2週間後には英語でちゃんとした発表と質疑応答するようになり、学生の成長にいつも驚いています。

そんな彼らから元気もらっています。



写真3 授業の様子



写真4 最終日、修了証を手にして集合



## 人前で歌うことで得られる感動を大事にしたい。

シンガー・ソングライター

比屋定 篤子 (43期)

この度、会報誌「城岳同窓会」に寄稿させていただく機会を賜りました。私の活動している様子について書いても良いとのこと、大変有り難い機会ですので、非常に個人的な内容になりますが書いてみたいと思います。

現在、私はシンガー・ソングライターとして活動しています。歌い手になった直接のきっかけは、武蔵野美術大学入学後、間髪入れずに入部したラテン音楽研究会というサークルで「1年生はバンドを作れ」という先輩の指示に従いボサノヴァバンドを結成し、ボーカルを担当したことにあります。人前で歌う高揚感は何にも代え難く、美術大学に入学したにもかかわらず、音楽の道を志すことにしたのです。全く迷いもせずに。

しかしながら私は、美大に入るのに案外長い時間をかけていました。那覇高校2年生の時に美大を目指し、毎朝一人、美術室で石膏デッサンをするようになりました。高校3年生になると、クラスメイトは指定校推薦でどんどん進学先が決まっていきましたが、私はといえば、ほぼ独学の受験勉強。どうしたらいいかわからないまま、ただひたすらに絵を描いていました。初めての受験は不合格。浪人決定で、父の単身赴任先の福岡で予備校生となりました。賑やかな街、福岡での一浪目はとても楽しかった。その結果、二浪決定。浪人生が楽しく過ごすそりゃこうなります。二浪目は東京の予備校に行かせてもらいました。今、考えるとなんて恵まれていたんでしょう。さすがに二浪目は辛く苦しく、後が無い気持ちで必死でした。こうしてやっと入学した美大で、見つけてしまった歌手への道。親には本当に申し訳なかったけれど、美大だったからこそ音楽を選ぶことが出来たと思ってい

ます。自由な校風が未来を柔軟に見据えることを許した、といひましょうか。今、思うのは、美大で経験したことは何一つ無駄ではなく歌に活かされている、ということです。

美大卒業後、1997年に大手レコード会社からデビューし、夢が実現したと思ったわけですが、実はデビューなんてものは、ただ入口の扉の鍵をひねったくらいのことには過ぎませんでした。その後は結構大変でした。多額の制作費をかけたCDを作っても売れない。やがてレコード会社をクビに。その後です。私が歌い手になれたのは、後ろ盾が無くなって初めて自分が歌手としてどうありたいかを突き付けられました。やはり人前で歌うことで得られる感動を大事にしたい。ライブをマイペースであっても続けたい、と自分でツアーを作っているんな場所に歌いに行くようになりました。多くの出会いが予想しなかった土地に導いてくれました。歌って聞いてもらうことが私の力になる。今は本当にこの仕事を天職と思っています。

最後に触れておこうと思いますが、今年は二中、那覇高校創立110周年の節目の年。昨年から記念式典準備を進めていましたが、誰も予想できなかった事態（COVID-19の世界的蔓延）により、縮小せざるを得なくなりました。今年の世話役は奇しくも我々の代、43期生だったので、年賀状の挨拶文に「10月17日に同窓会で会いましょう」と書いていた友人もおりました。縮小は残念ではありますが、これは仕方ありません。城岳同窓会会員の皆さま、どうぞ健康に留意なさって、そして日々を楽しくお過ごしください。



# うえはら眼科

院長 上原 勝 (25期生)

〒904-2171 沖縄県沖縄市高原2丁目4番17号

TEL (098) 930-3100

FAX (098) 930-3101

## 編集後記

今年は新型コロナが「吹き荒み」、ハワイ留学の直前中止など同窓会事業も大きな影響を受けた。特に残念だったのは百十周年記念式典を大幅に縮小、同窓生と在校生と一緒に祝えなかったことだ。それでも城岳の底力、記念講演は東京の南風原朝和氏（25期）と各教室をリモートで結び、ネットで全国、世界へ発信した。

執筆していただいた金城政孝氏（28期）、比屋定篤子氏（43期）、会員・企業の広告へのご協力に感謝申し上げます。

会報は與儀幸英事務局長（20期）の記事・写真、宜壽次美智（45期）のレイアウト、校正・諸見里道浩（23期）でお届けします。

## 城岳同窓会の終身会費について

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄附金、事業収益金及びその他の収入をもって充てております。

さて、会員の拠出金は、年会費1,000円または、終身会費5,000円によって賄われております。年会費を一括で5,000円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかわりごとご芳志をお願い致します。

**振込先** 琉球銀行桶川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301

**口座名義人** 一般社団法人城岳同窓会 会長 宮里 博史（ミヤザトヒロシ）  
ご芳名の前に卒業期をご記入下さい。

**問い合わせ** 一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英  
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1丁目21番53号 TEL (FAX) : 098-867-2525

## 城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん、どうぞご利用下さい。

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及事務室
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。なお、使用料金（光熱費）は1団体：1時間800円です。
- ・ 4階は自学自習室として、学校が活用しています。

編集発行 一般社団法人 城岳同窓会

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525  
事務局 E-mail:yogi@jogaku.or.jp

城岳同窓会ホームページ <http://www/jogaku.or.jp>

### 【遺言・相続専門】

行政書士ジャジー総合法律事務所

JAZZ好きの行政書士

城間 恒浩（43期・陸上部）

那覇市松尾1丁目15番7号 2階

☎098-861-3953

（那覇高校から徒歩5分）

遺言書は大事な家族を相続問題・争いから守る最後のお手紙です。終活、相続や遺言書のことでお困りでしたら、お気軽にご相談ください。毎月、相続セミナーを開催中です。

ブログ[行政書士 ジャジー]検索

ラジオ番組「ジャジーのJAZZタイム×幸せな相続相談」(FMレキオ80.6MHz)

第1 & 第3水曜日午後9時から放送中！

